

「危険物施設の長期使用に係る調査検討会」 (平成30年度第1回) の開催について

危険物保安室

1. はじめに

国土強靱化基本計画（平成26年6月閣議決定）において、今後インフラが一斉に老朽化することを踏まえ、国民の安全・安心を確保し、中長期的なトータルコストの縮減、標準化を図りつつ、インフラの維持管理・更新を確実に実施することが求められています。

このような状況の中、近年、危険物施設においても事故が増加し、施設や設備の長期使用による危険物の大量流出等が発生していることから、消防庁では、平成29年度から「危険物施設の長期使用に係る調査検討会」（以下「検討会」という。）を開催し、危険物施設の長期使用を踏まえた安全対策等について、検討を進めているところです。

2. 検討項目

平成30年度の主な検討項目については次のとおりです。

- (1) 危険物施設の定期点検について
- (2) インフラ施設で用いられているモニタリング技術・診断技術の危険物施設への適用について
- (3) 屋外貯蔵タンクにおける浮き屋根の安全対策について

3. 平成30年度第1回検討会の内容

平成30年度第1回検討会では、昨年度の調査検討結果等を踏まえ、危険物施設の定期点検やインフラ施設で用いられているモニタリング技術・診断技術の調査に関する今後の方向性等について検討が行われました。

また、屋外貯蔵タンクの浮き屋根の浮き室内部に危険物が漏れいしている事故等が散見されることから、浮き屋根の安全対策について検討を行うため、ワーキンググループを立ち上げることになりました。

4. 今後のスケジュール

- ・第2回 平成30年12月～平成31年1月頃（予定）
- ・第3回 平成31年3月頃（予定）

委員名簿（敬称略）

【座長】

山田 實 元横浜国立大学 リスク共生社会創造センター 客員教授

【委員】（五十音順）

岡崎 慎司 横浜国立大学大学院工学研究院 機能の創生部門 教授

岡田 一将 東京消防庁 予防部 危険物課長

小川 晶 川崎市消防局 予防部 危険物課長

亀井 浅道 元横浜国立大学 安心・安全の科学研究教育センター 特任教授

川越 耕司 石油化学工業協会 消防防災専門委員会 委員長

小松 正宏 一般社団法人 日本化学工業協会

佐々木敏弥 石油連盟 環境安全委員会 設備管理専門委員会 委員

辻 裕一 東京電機大学 教授

土橋 律 東京大学大学院工学系研究科 教授

中村 英之 一般社団法人 日本非破壊検査工業会

中本 敦也 危険物保安技術協会 タンク審査部長

西 晴樹 消防庁消防研究センター 火災災害調査部長

橋本 直也 一般社団法人 日本産業機械工業会

古河 大直 一般財団法人 全国危険物安全協会 業務部長

松村 浩行 堺市消防局 予防部 危険物保安課長

宮崎 昌之 全国石油商業組合連合会 環境・安全対策グループ長

若倉 正英 特定非営利活動法人保安力向上センター センター長

事務局

消防庁危険物保安室



検討会の様子

問い合わせ先

消防庁危険物保安室 危険物施設係 池町、大津
TEL: 03-5253-7524